

平成21年度 事業報告

平成21年度は、経済状況や雇用の不安定、少子高齢化の進展の中で社会情勢が変動した年となり、今後も新たなニーズに応じていくための環境整備の構築が重要となる。

高齢者福祉において、平成12年度にスタートした介護保険制度が10年目を迎える中、第4期介護保険事業支援計画（平成21年度から平成23年度まで）がスタートし、介護従事者の処遇改善等のための「介護報酬改定」と「介護職員処遇改善交付金」制度の創設があり、サービス提供体制強化加算等の取得や介護職員の処遇改善につながったものと思われる。

本会においては、高齢者の福祉に関する調査研究・情報提供、高齢者福祉従事者の研修・育成、高齢者福祉事業の充実、発展、施設機能の向上等を推進することにより、真に豊かな社会福祉づくりに貢献することを目的とし、7委員会と3部会を常設し、21年度は①介護保険制度への的確な対応、②特色ある部会活動の強化、③サービスの質の向上、利用者主体のサービス提供、④情報発信を中心とした公益的事業の推進、の4項目を重点項目として各種の自主事業を実施してきた。

さらに、夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業（平成15年度から実施）など県からの継続受託事業も積極的に取り組むとともに、「兵庫県老人福祉計画（第4期介護保険事業支援計画）」の重点課題の一つである「福祉人材確保対策推進プログラム」に基づく「潜在的有資格者等養成支援事業」等の助成事業や、「介護保険施設職員等人材確保支援事業」にも積極的に呼応し、県と一体となってサービス利用者の処遇向上及び従事者人材育成等に取り組んでいるところである。

介護保険法関連以外の養護、軽費・ケアハウス部会の活動としてはそれぞれ時機を得たテーマで職員研修会や施設長研修会を行うなど、多様なニーズに適切に対応するため人材育成等に積極的に取り組んでいるところである。

また、法人・施設の継続安定的維持のための基盤整備や、広くサービス利用者及び家族等の日常生活の支援の向上や介護職員等人材の確保を図るため、各種委員会、部会活動等の実践を通じた経験やアンケートなどから、現場の意見を基に要望書としてまとめ、国、県・県議会等関係機関に提出したところである。

各事業、委員会、部会が鋭意取り組んできた詳細実績については以下のとおりである。

1. 各種委員会・部会報告

① 介護保険推進委員会

本年度は、平成 21 年 4 月の報酬改定を受けて会員事業所における特養・ショートの実態を把握するために平成 20 年度と平成 21 年度の 4～9 月の状況調査（調査結果回収率 75%）を実施し、介護報酬改正前後で施設の収支状況や運営状況がどのように変化したのかを分析し、その影響度合いを確認した。また、平成 21 年 10 月から導入された「介護職員処遇改善交付金」の申請状況等について調査（調査結果回収率 73.9%）を実施した。

研修会は 3 回開催し、「介護基盤構築 3 年戦略セミナー」（全国老協との共催）においては介護報酬改定の解説、「介護職員処遇改善交付金等にかかる事務説明会」では申請手続き等に関わる説明、「業務管理体制推進研修会」において

は本会で作成した『モデル法令等遵守業務管理規程』の解説を交えて法令遵守の意義等についての講義を行った。

また、介護保険に関する相談窓口を設置し、県民からの介護保険制度の利用に対する相談に応じた。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護保険 推進委員会 (4回)	6月17日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 福祉人材確保対策事業について 2. 平成 21 年度事業について 3. その他	県老協 10名 県1名
	9月14日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 調査項目について 2. 研修会について 3. その他	県老協 8名 県1名
	11月4日	兵庫県民会館	〈協議事項〉 1. 介護保険調査について ・介護職員処遇改善交付金 ・平成 20・21 年度介護保険調査 2. 研修会について 3. その他	県老協 10名 県1名
	1月13日	兵庫県民会館	〈協議事項〉 1. 介護保険調査について ・介護職員処遇改善交付金 ・平成 20・21 年度介護保険調査 2. 研修会について 3. 事業計画 4. その他	県老協 10名 県1名
法令遵守規 程作成会議	10月16日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 法令遵守規程の作成について	5名
調査研究	第1回		介護職員処遇改善交付金(特養・ショート)の申請状況等の調査	
	第2回		平成 20・21 年度介護保険調査(加算状況・収入比較・平均要介護度等)	

介護基盤構築3年戦略セミナー	7月8日	ピフレホール	講義 ①平成 21 年度介護報酬改定の解説 ②介護職員処遇改善交付金・施設整備助成金等の解説 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 介護保険委員会 委員長 舛田和平氏	158 名
介護職員処遇改善交付金等にかかる事務説明会	8月 17 日	兵庫県民会館	1. 『介護職員処遇改善交付金について』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 課長補佐 兼 介護事業者係長 斉藤信広氏 2. 『施設等運営に係る留意事項について』 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 課長補佐 兼 高年施設係長 牧野宏成氏 3. その他	241 名
業務管理体制推進研修会	2月1日	兵庫県中央労働センター	講義 『法令遵守責任者配置義務の目的と意義』 大阪府立大学 教授 関川芳孝氏 『介護職員処遇改善交付金について (経理処理のポイント・平成 22 年度の申請手続き等)』 兵庫県高齢社会課 告野育美氏	123 名

② サービス評価委員会

特別養護老人ホームのサービス水準の向上を支援することを目的に、今年度も会員施設 14 施設と再評価 2 施設を訪問し、サービス内容の改善方法やサービスの質の向上について助言等を行うとともに、利用者のサービスの選択に資することを目的として、客観的な評価結果を報告書にまとめ一般に公開した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
班長会議	4月 10 日	県福祉センター	<協議事項> 1. サービス評価事業について 2. 平成 20 年度サービス評価事業の報告書について 3. 平成 21 年度のサービス評価事業のあり方 ① 委員の変更・班構成 ② 平成 21 年度サービス評価実施施設 ③ 今年度のすすめ方 ・ 実施施設説明会 ・ 委員勉強会 4. サービス評価希望項目について 5. タイムスケジュールについて 6. その他	6名
実施施設説明会	6月 19 日	県福祉センター	1. 平成 21 年度サービス評価実施施設の紹介 2. サービス評価事業概要説明 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について ・ サービス評価事業実施要綱 ・ 当日タイムスケジュール ・ サービス評価委員名簿	15 施設 29 名

			<p>【事前提出資料】 施設データ 職員状況(常勤・非常勤、男女) 利用者の状況 サービス評価希望項目</p> <p>【実施後提出資料】 サービス評価事業実施施設所感文 サービス評価事業総括票</p> <p>5. 実施視察日程調整について 6. 質疑応答 7. その他</p>	
再評価 実施施設 説明会	6月 19 日	県福祉センター	<p>1. 実施施設の紹介 2. 再評価事業のあり方について 3. サービス評価事業記入手順について 4. 事前資料などの提出について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービス評価事業実施要綱 ・ 当日タイムスケジュール ・ サービス評価委員名簿 <p>【事前提出資料】 施設データ 職員状況(常勤・非常勤、男女) 利用者の状況 サービス評価希望項目</p> <p>【実施後提出資料】 サービス評価事業実施施設所感文 サービス評価事業総括票</p> <p>5. 実施視察日程調整について 6. 質疑応答 7. その他</p>	2施設 3名
サービス 評価事業 委員勉強会	8月 28 日	神戸市勤労会館	<p>1. サービス評価の意義と活用 ～自己評価、相互評価、そして第三評価～ 特定非営利法人PASネット 理事長 上田晴男氏・相談員 栗原紀代美氏</p> <p>2. 実施視察タイムスケジュールについて 3. 昨年度との変更点について 4. 事前資料の確認方法について 5. 現状、課題の確認方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 報告書の作成について (良い事例・事業実施施設のサービス評価結果) <p>6. 委員の心得について 7. 各種種別意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各評価項目確認について統一すべきポイント ・ 実施視察において統一すべきポイント 	18名

評価事業 実施施設	9月～1月	各実施施設	椿の園・和寿園・オンベリーコ・宝塚まどか園 揖保の郷・のじぎくの里・むらおかこぶし園 にしのみや苑・セントポーリア愛の郷・サルビア荘 グランはりま・浜の宮松竹園・愛しや・あわじ荘 〔再評価施設〕 洲本ラガール・宝塚あいわ苑 (サービス評価実施報告書参照)	16 施設
総括会議	3月 23 日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 平成 21 年度サービス評価事業について ① 平成 21 年度サービス評価事業公表まとめ ・ 特徴的なサービス事例 ・ 実施施設「良い現状」事例 ・ 実施施設全体の総評(班長) ② 再評価実施施設のまとめ 2. その他	19 名
発行物	「サービス評価事業報告書ー平成 21 年度版ー」 (種別)冊子 700 部 (配布先)会員施設、関係団体、一般			

③ 拘束なき介護にむけての検討委員会

高齢者の自由と尊厳をまもり、自立した生活の支援や人権を擁護するため、拘束なき介護を展開していただくことを目的に事業を実施した。

そのなかでも、特に職員研修会は、「介護実践への支援」をテーマに、各会員施設での拘束なき介護にむけての取り組みに対して、直接的な支援を目的に今年度、来年度の2カ年の連続受講形式の研修を企画した。

また、公開シンポジウムについては、介護の日のイベントとして研修委員会との合同開催により、「介護現場からのメッセージ」として、拘束なき介護の検討をとおしてのメッセージを広く福祉関係者はもとより、県民へ発信した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 検討委員会 (9回)	6月 12 日	県福祉センター	〈報告事項〉 1. 拘束なき介護にむけてのハンドブック、活動 報告書発行について 〈協議事項〉 1. 平成 21 年度スケジュール・役割分担について 2. 経年変化調査について 3. 職員研修会・シンポジウムについて 4. アドバイザー派遣事業について 5. その他	9名
	7月 11 日	県福祉センター	〈協議事項〉 1. 経年変化調査について 2. シンポジウムについて 3. 職員研修会について 4. アドバイザー派遣事業について 5. その他	9名

	8月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. アドバイザー派遣事業について 2. シンポジウムについて 3. 経年変化調査について 4. その他	10名
	9月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 経年変化調査について 2. アドバイザー派遣事業について 3. シンポジウムについて 4. その他	9名
	10月30日	神戸市勤労会館	<協議事項> 1. 経年変化調査について 2. シンポジウムについて 3. アドバイザー派遣事業について 4. 職員研修会について 5. その他	10名
	12月11日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護の日シンポジウムについて <協議事項> 1. 経年変化調査について 2. 職員研修会について 3. アドバイザー派遣事業について 4. 平成22年度事業計画について 5. その他	8名
	1月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. 経年変化調査集約作業について 2. 職員研修会について 3. アドバイザー派遣事業について 4. 平成22年度事業計画について 5. その他	8名
	2月19日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. 経年変化調査集約作業について 2. 職員研修会について 3. アドバイザー派遣事業について 4. 平成22年度事業計画について 5. その他	9名
	3月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 経年変化調査集約作業について 2. 職員研修会について 3. アドバイザー派遣事業について 4. その他	7名

拘束なき介護 にむけての シンポジウム ～介護の日 記念事業～ 打合せ (2回)	8月5日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. 拘束なき介護にむけてのシンポジウム ～介護の日記念事業～について 2. その他	5名
	10月7日	兵庫県民会館	<報告事項> 1. 介護の日記念シンポジウムのチラシについて <協議事項> 1. 介護の日記念シンポジウムについて 2. その他	6名
拘束なき介護 にむけての シンポジウム ～介護の日 記念事業～	11月11日	兵庫県民会館	(介護の日記念事業として研修委員会と合同企画) 介護講談「ふまじめ介護～介護は最高の人生の学び場」 講談師 田邊鶴瑛氏 介護現場からのメッセージ 『日々の関わりから感じる介護職としての喜び・誇り』 特別養護老人ホームしかまの里 菅原一男氏 『専門職として利用者の人権を守るということ』 特別養護老人ホームこぶし園 仲井さかえ氏 『介護現場での拘束なき介護にむけての取り組みから』 特別養護老人ホームサルビア荘 出口博久氏	122名
拘束なき介護 にむけての 職員研修会	2月26日	県福祉センター	講義『介護老人福祉施設が目指す拘束ゼロとは』 大阪人間科学大学 人間科学学部 教授 峯本佳世子氏 『拘束なき介護にむけてのハンドブックの活用について』 特別養護老人ホームサルビア荘 施設長 出口博久氏 グループワーク	106名
拘束なき介護 にむけてのアド バイザー派遣 事業	8月19日	博寿苑	施設内職員研修会講義	
	8月25日	緑風館	施設内職員研修会講義・事例検討助言者	
	11月19日	ほがらか苑	施設内職員研修会講義	
	3月5日	桑の実園	施設内職員研修会講義・事例検討助言者	

④ 調査研究委員会

兵庫県介護サービス情報公表システムの公表結果や会員施設に対して実施した類似の調査結果を分析・研究し、ホームページ上に一般公開することにより、地域住民や施設を利用する要援護高齢者から期待される施設づくりの一助とした。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
調査研究 委員会 (6回)	7月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. 事業報告 2. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表 システムからみる県内の動向 <協議事項> 1. 今後のスケジュールについて	8名

	9月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向 2. かけはし号外について	6名
	11月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向	7名
	12月8日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向	6名
	1月7日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向	7名
	2月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向 2. 平成21年度調査内容について	6名
調査結果	「平成20年度兵庫県介護サービス情報公表システムから見る県内の動向について」 (種別)調査結果を本会ホームページにて公表 (公開先)会員施設、関係団体、一般			

⑤ 編集委員会

会員施設が実施している事業やサービスの内容等を広く県民に情報発信すると共に、会員相互の情報や意見の交流を目的として機関紙「かけはし」を発行し配布した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
編集委員会 (3回)	6月24日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし70号について 2. 平成20年度事業報告について <協議事項> 1. 平成21年度事業計画について 2. 平成21年度かけはしについて ① 業者について ② 内容について 3. その他	9名
	9月10日	県福祉センター	<報告事項> 1. かけはし第71号・第72号について <協議事項> 1. かけはし第73号について 2. その他	8名

	1月13日	県福祉センター	<協議事項> 1. かけはし第73号について 2. 事業計画について 4. その他	8名
発行物	「かけはし」71号・72号・73号 (種別)機関紙:各1,000部 (時期)8月・10月・2月 (配布先)会員施設、関係団体			

⑥ ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会

本委員会は、改訂版「介護老人福祉施設 包括的自立支援プログラム」をもとに、会員施設における「ケアプランの作成の理念」ならびに「包括的自立支援プログラムの特長と作成手順」の理解を目的に『ケアプラン基礎研修会(講義編)』を開催し、なお「講義編」を踏まえて、各ブロックと連携して『ケアプラン基礎研修会(事例演習編)』を実施した。

また、各ブロックにおけるケアプラン研修会への『講師派遣事業』を推進した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン リーダー 養成・派遣 事業委員会 (5回)	5月14日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成21年度事業スケジュールについて 2. 研修会用共通事例について 3. その他	9名
	6月23日	県福祉センター	<協議事項> 1. ケアプラン研修会(基礎編)について 2. 各ブロック研修会について 3. 研修会用共通事例について 4. その他	8名
	8月18日	県福祉センター	<協議事項> 1. ケアプラン研修会(基礎編)について 2. 各ブロック研修会について 3. ICF概念研修会について 4. その他	8名
	12月22日	県福祉センター	<報告事項> 1. ケアプラン研修会(基礎編)について <協議事項> 1. 各ブロック研修会について 2. 平成22年度事業計画について 3. ICF概念研修会について 4. その他	8名
	3月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. ケアプラン研修会(ICF概念編)について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成22年度研修会用共通事例について 3. その他	8名

ケアプラン 基礎研修会 (講義編)	8月27日	県福祉センター	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明『共通事例概要・留意事項』 洲本特別養護老人ホームラガール 佐野由美子氏	64名
	9月4日	丹波の森公苑	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	48名
	10月9日	姫路商工会議所	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏	55名
ケアプラン 基礎研修会 (事例演習編)	※詳細は、平成21年度ブロック研修助成事業報告書参照			
	ブロック	実施日	場所	参加人数
	阪神	10月15日	K-maisonときめき	25名
	東播磨	11月13日	小野市うるおいエクラ	25名
	姫路	11月14日	姫路商工会議所	19名
	西播磨	11月10日	赤とんぼ荘	22名
	但馬	9月30日	但馬長寿の郷	16名
	丹波	10月14日	丹波学習の森	16名
淡路	12月18日	洲本健康福祉館	19名	
ケアプラン 研修会 (ICF概念編)	1月19日	県福祉センター	講義『ICFの概念の“包括的自立支援プログラム(アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例演習 講義『研修会の総括』 こぶし園 施設長 邊見 豊氏	65名

委員派遣 事業	11月13日	小野市 うるおい交流館 エクラ	【東播磨ブロックケアプラン研修会】 講義「共通事例をふりかえって」 こぶし園 施設長 邊見 豊氏
	11月14日	姫路商工会議所 503号室	【姫路ブロックケアプラン研修会】 講義『共通事例を振り返って “生きる(生活)”を支援するケア(計画)とは～』 こぶし園 施設長 邊見 豊氏
	12月2日	但馬長寿の郷	【但馬ブロックケアプラン研修会(応用編)】 『研修の総括』 こぶし園 施設長 邊見 豊氏

⑦ 研修委員会

会員施設のニーズを基本とした専門的かつ内容の充実した研修事業について、また、広く会員外への研修事業についても検討協議し開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修委員会 (5回)	7月1日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成20年度事業報告について <協議事項> 1. 平成21年度事業計画について 2. 年間スケジュールについて 3. 各種研修会について 4. その他	5名
	8月25日	県福祉センター	<報告事項> 1. 介護支援専門員受験準備講習会について <協議事項> 1. 拘束なき介護にむけてのシンポジウム ～介護の日記念事業～について 2. 施設長研修会について 3. その他	4名
	9月29日	県福祉センター	<報告事項> 1. 拘束なき介護にむけてのシンポジウム ～介護の日記念事業～について <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 職員研修会について 3. その他	5名
	12月15日	県福祉センター	<報告事項> 1. 拘束なき介護にむけてのシンポジウムについて <協議事項> 1. 施設長研修会について 2. 事業計画について 3. 平成22年度事業計画について 4. その他	4名

	3月11日	県福祉センター	<報告事項> 1. 職員研修会について 2. 施設長研修会について <協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 平成22年度介護支援専門員受験準備講習会について 3. 平成22年度研修内容について 4. その他	5名
介護支援専門員受験準備講習会	8月1日～2日	県福祉センター	【1日目(8月1日)】 『介護支援サービスと介護サービス』 『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏 【2日目(8月2日)】 『高齢者保健医療の基礎知識』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『介護支援サービスと介護サービス』 本多聞高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者福祉の基礎知識』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏	総数 105名 (会員68名、 非会員37 名)
施設長研修会 座談会打合せ (2回)	12月9日	県福祉センター	<協議事項> 1. 施設長研修会タイムスケジュールについて 2. 座談会内容について 3. その他	5名
	1月12日	県福祉センター	<協議事項> 1. 座談会内容について 2. その他	5名
職員研修会	1月28日	県福祉センター	『利用者とのコミュニケーション方法』 Motto ひょうご 事務局長 栗木 剛氏	68名
施設長研修会	2月4日～5日	クラウンプラザ 神戸	【1日目(2月4日)】 <基調報告> (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 <座談会> 『委員長・班長が望むサービスの質に向上』 ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会 邊見 豊氏 拘束なき介護に向けての検討委員会 出口博久氏 サービス評価事業 首藤 風氏 <講演> 『心の荷物のおろし方』 川村妙慶氏 【2日目(2月5日)】 <講演>	88名

			『災害から高齢者を守るために！』 神戸市消防局 主任 満尾勝徳氏 『共に支え、共に生きる』 六甲病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野尚美氏	
拘束なき介護 にむけての シンポジウム ～介護の日 記念事業～ 打合せ (2回)	8月5日	兵庫県民会館	<協議事項> 1. 拘束なき介護にむけてのシンポジウム ～介護の日記念事業～について 2. その他	5名
	10月7日	兵庫県民会館	<報告事項> 1. 介護の日記念シンポジウムのチラシについて <協議事項> 1. 介護の日記念シンポジウムについて 2. その他	6名
拘束なき介護 にむけての シンポジウム ～介護の日 記念事業～	11月11日	兵庫県民会館	(介護の日イベントとして拘束なき介護に向けての検討委員会と合同企画) 介護講談「ふまじめ介護～介護は最高の人生の学び場」 講談師 田邊鶴瑛氏 介護現場からのメッセージ 『日々の関わりから感じる介護職としての喜び・誇り』 特別養護老人ホームしかまの里 菅原一男氏 『専門職として利用者の人権を守るということ』 特別養護老人ホームこぶし園 仲井さかえ氏 『介護現場での拘束なき介護にむけての取り組みから』 特別養護老人ホームサルビア荘 出口博久氏	122名

⑧ 養護部会

養護老人ホームについては、平成18年4月の介護保険制度改正により、介護サービスが利用出来る措置施設(外部サービス利用型特定施設)となり新たなスタートを切る事となった。本部会では、21世紀型養護老人ホームのあり方を模索する中、措置施設として培ったサービスのあり方を新しい時代にどのように活かすかを学ぶため研修会を開催し、多様なニーズに適切に対応するために必要な対応策等について学んだ。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 (5回)	6月8日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成21年度事業計画について 2. 平成22年度予算対策について 3. その他	5名

	7月28日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 平成21年度事業計画について 研修会の開催について 2. その他	4名
	10月6日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国老施協養護部会報告 2. 予算要望(県・県議会、自由民主党) <協議事項> 1. 平成21年度事業計画について 研修会の開催について ・10/14 新型養護ケアプラン(パッケージプラン) ・11/20 養護部会職員研修会「傾聴」 ・1/20 養護部会施設長研修会 2. その他	3名
	11月20日	県福祉センター	<報告事項> 1. 全国・近畿老施協養護部会報告 <協議事項> 1. 調査項目について 2. 平成22年度事業計画について 3. その他	4名
	1月20日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 調査項目について 3. その他	4名
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会	10月14日	県福祉センター	講義・演習 『わかりやすくなったパッケージプランについて』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	24名
傾聴職員研修会	11月20日	県福祉センター	講義・演習 『対人援助者に必要な傾聴テクニック』 牧野 正等氏	68名
養護部会施設長研修会	1月20日	県福祉センター	講義 『養護老人ホーム再構築 ～現状分析とこれからの取組について～』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留 志郎氏	25名

⑨ 軽費・ケアハウス部会

本年度も軽費・ケアハウス部会の特色を出すためのテーマを設定し、職員研修会・施設長研修会を実施した。また、軽費老人ホーム事務費補助金の一般財源化に伴う予算確保については、今年度も予算要望を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
軽費・ ケアハウス 部会 (5回)	7月2日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成20年度事業報告 <協議事項> 1. 事業スケジュール 2. 平成22年度予算要望について 3. 各種研修会について 4. その他	5名
	8月24日	県福祉センター	<報告事項> 1. 軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準省令施行後の動向調査について <協議事項> 1. 各種研修会について ・ 職員研修会 ・ 軽費・ケアハウス部会施設長研修会 2. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規程・契約書・利用案内・書類関係一式など」の見直しについて 3. その他	5名
	10月30日	県福祉センター	<報告事項> 1. 施設長研修会について <協議事項> 1. 職員研修会について 2. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規程・契約書・利用案内・書類関係一式など」の見直しについて 3. その他	4名
	12月1日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成22年度事業計画について 2. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規程・契約書・利用案内・書類関係一式など」の見直しについて 3. その他	5名
	2月17日	県福祉センター	<協議事項> 1. 「軽費老人ホーム・ケアハウスモデル管理規程・契約書・利用案内・書類関係一式など」の見直しについて 2. その他	5名
職員 研修会	11月17日	県福祉センター	『100歳になっても自分の足で元気に歩く』 神戸常盤大学 保健科学部看護学科 教授 柳本有二氏	30名

施設長 研修会	12月1日	県福祉センター	『軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準』 全国軽費老人ホーム協議会 副会長兼事務局長 特別養護老人ホームさざんかの郷 理事長 西澤正一氏	29名
------------	-------	---------	--	-----

⑩ デイ部会

本部会では、新型インフルエンザ対策について各事業所あて緊急アンケート調査を実施し、兵庫県あて要望を行った。また、例年どおり各事業所における課題を整理し、国・県への要望を実施した。

部会企画の研修会については、「職場における職員のストレスへの対応」を施設長、職員の共通テーマとしてとらえ、特に職員は自身のストレスをマネジメントできる方法を、施設長は職員のメンタルヘルスケアへの対応策を学ぶことを目的に研修会を開催した。加えて、各事業所における機能訓練プログラムについての実践発表を通じて、これからのデイサービスセンターのあり方を共に考える機会としても研修会を開催した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
デイ部会 (4回)	5月25日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成20年度事業報告について <協議事項> 1. 新型インフルエンザ対策への緊急アンケート調査について 2. 平成21年度事業スケジュールについて 3. 平成22年度予算要望について 4. 各研修会について 5. その他	6名
	7月13日	県福祉センター	<報告事項> 1. 新型インフルエンザ対策(兵庫県要望書提出)について <協議事項> 1. 第1回職員研修会について 2. 平成22年度予算要望について 3. 単独施設長研修会について 4. 第2回職員研修会について 5. その他	5名
	9月28日	県福祉センター	<報告事項> 1. 平成22年度予算要望について <協議事項> 1. 第1回職員研修会について 2. 第2回職員研修会について 3. 単独施設長研修会について 4. その他	3名
	12月16日	県福祉センター	<報告事項> 1. 第1回職員研修会について <協議事項> 1. 第2回職員研修会について 2. 単独施設長研修会について 3. 平成22年度事業計画について 4. その他	5名

職員 研修会 (2回)	9月28日	県福祉センター	<講義> 講義・演習 『セルフマネジメントー自分で自分のストレスをとる方法ー』 一般社団法人日本メンタルフィットネス協会 理事長 心理カウンセラー 下口雄山氏	62名
	12月16日	県福祉センター	<講義> 『通所介護事業所における機能訓練プログラムを通して考えるこれからのデイサービスのあり方』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 <実践発表> ①デイサービスセンターやすらぎ ②清住園デイサービスセンター ③津名デイサービスセンター ④ゆうらぎデイサービスセンター <グループディスカッション>	80名
施設長 研修会	2月22日	県福祉センター	<講義・演習> 『職場のメンタルヘルスケアー管理職の役割ー』 関西福祉科学大学 大学院 健康福祉学部 准教授 長見まき子氏	46名

2. 情報発信事業

本会において実施している事業ならびに、県内の老人ホーム等が実施している事業やサービス内容等を会員施設および広く県民に情報発信することを目的に下記報告書等を作成し発行、本会ホームページ上で公開した。

事業名	時期	配布先	内容	部数
かけはし	8月・10月 2月	会員施設 関係団体	かけはし71号～73号を発行し、会員施設ならびに関係団体への配布を行った。	各1,000部
兵庫県介護サービス情報公表システムからみる県内の動向について	年1回	会員施設 関係団体	兵庫県介護サービス情報公表システムの公表結果や会員施設に対して実施する類似の調査結果を分析・研究し、ホームページ上に一般公開した。	—
サービス評価事業報告書	年1回	会員施設 関係団体	自己評価支援を行った14施設と再評価2施設の客観的な評価結果を報告書にまとめ、広く会員施設ならびに関係団体、一般に配布した。	700部

3. 国・県への政策提言・関係諸団体との連絡事業

本会の組織運営にあたり、行政・各関係団体との連携を強化し、予算対策活動を実施した。

事業名	実施日	場所	事業内容	参加人数
国・県予算対策事業	5月29日	県庁	兵庫県に対し、新型インフルエンザ対策について要望を行った。	2名

(要望書の提出)	7月28日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成22年度予算に向け要望を行った。	2名
	8月19日	県庁	兵庫県に対し、新型インフルエンザ発生に伴う休業高齢者施設への助成の創設について要望を行った。	4名
	8月28日	県庁	兵庫県に対し、新型インフルエンザ発生に伴う休業高齢者施設への助成の創設について要望を行った。	2名
	9月28日	県庁	平成22年度予算県編成に対する要望について	6名
	9月29日	公明党県連	公明党県連に対し、老人福祉施設の積極的な整備の推進など、平成22年度予算に向け要望を行った。	1名
	10月6日	県議会	平成22年度予算県編成に対する要望について	6名
要望書に対する報告会	2月17日	県庁	平成22年度予算要望についての報告会を開催し、兵庫県より報告を受けた。	7名
	3月30日	自由民主党県連	自由民主党県連に対し、平成22年度政策要望に係る報告及び意見交換会を行った。	2名

4. その他の事業

① 表彰・感謝贈呈事業

県内の各事業所に従事する職員等で、事業所に10年以上勤務し、顕著な功績のあった者に対して、本会総会において表彰し感謝の意を表した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容
表彰 感謝	6月10日	ホテル北野プラザ六甲荘	10年勤続職員 170名 退職施設長:武内伸泰氏、川島秀紀氏、小椎尾隆氏

② ブロック助成事業

各ブロックにおけるケアプランについての研修実施に対し、本会からブロック研修助成金を交付した。
(平成21年度ブロック研修助成事業報告書参照)

③ 青年部会運営助成事業

社会福祉法人や老人施設の次代を担う人材を育成することを目的に設置された青年部会の事業推進に対し本会から事業助成金を交付した。
(平成21年度青年部会運営助成事業報告書参照)

④ 平成21年度近畿老人福祉施設研究協議会(兵庫・神戸)大会実行委員会

近畿老人福祉施設協議会会員等を対象に、当面する老人福祉施設の諸課題について研究協議することを目的に、平成21年7月23～24日に研修会を開催するにあたり、神戸市老人福祉施設連盟と連携し、実行委員会等を設置し、研修会の企画・立案を行った。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
-----	-----	-----	---------	------

実行 委員会 (3回)	4月3日	県福祉センター	<協議事項> 1. 各委員会委員変更について 2. 来賓について 3. 開催要綱(案)について 4. 懇親会について 5. 協賛企業について 6. 今後のスケジュールについて	9名
	6月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 参加申込状況について 2. 式典について 3. 全体会・分科会について 4. 懇親会について 5. 協賛企業について 6. スタッフについて 7. 近老協役員への事前説明会について 8. 今後のスケジュールについて	14名
	1月15日	クラウンプラザ ホテル	<協議事項> 1. 事業報告について 2. 決算報告について	15名
研修 委員会 (1回)	5月15日	県福祉センター	<協議事項> 1. 1日目全体会について 2. 2日目分科会について 3. 当日の役割分担について 4. 今後のスケジュールについて	5名
企画 委員会 (1回)	4月22日	県福祉センター	<協議事項> 1. 懇親会について 2. 協賛企業について 3. 運営スタッフについて	5名

⑤ 高齢者福祉事業に関する連絡調整事業

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
近畿老人 福祉施設 研究協議会 (兵庫・神戸) 大会への参加	7月 23 日 ～24 日	神戸ポートピア ホテル	【1日目】〔全体会〕 <情勢報告> 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏 <講演①> 『人をケアするという生き方』 淀川キリスト教病院 ホスピス長 池永昌之氏 <講演②> 『チームアプローチにおけるスーパーバイズの重要性』 前東京ヤクルトスワローズ監督 古田敦也氏 【2日目】〔分科会〕	267 名

<p>全国老人福祉施設研究会議への参加</p>	<p>12月2日～3日</p>	<p>鹿児島アリーナ 他</p>	<p>【1日目】〔全体会〕 <基調報告> 『福祉・介護制度をめぐる課題と展望』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏 <基調講演> 『人づくりと高品質サービス 次なる課題は…』 参議院議員 中村博彦氏 <講演Ⅰ> 『介護保険制度の課題ー利用者ニーズのミスマッチ』 立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科 教授 服部万里子氏 <トークショー> 『「半次郎」日本人の誇りを取り戻す』 俳優 榎木孝明氏 【2日目】〔分科会〕</p>	<p>27名</p>
<p>全国老人福祉施設大会への参加</p>	<p>1月26日～28日</p>	<p>ホテル ニューオータニ 幕張</p>	<p>【1日目】〔開会式、全体会〕 <行政報告> 『介護保険制度の課題と展望』 厚生労働省老健局 局長 宮島俊彦氏 <基調報告> 『公益社団法人全国老協の使命』 公益社団法人全国老人福祉施設協議会 会長 中田 清氏 <基調講演> 『介護保険制度内事業体として…』 参議院議員 中村博彦氏 <記念講演> 『ムダを省く組織、即断即決の経営』 吉越事務所 代表(トリンプ・ジャパン前社長) 吉越浩一郎氏 【2日目】〔分科会〕 【3日目】〔閉会式〕</p>	<p>20名</p>
<p>近畿老人福祉施設協議会施設長研修会への参加</p>	<p>2月18日～19日</p>	<p>和歌山マリーナシティ ロイヤルパインズ ホテル</p>	<p><講演Ⅰ> 『福祉・人材確保対策及び外国人介護福祉士候補者の受入れについて』 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室長 泉 潤一氏 <講演Ⅱ> 『社会福祉法人の将来展望』 厚生労働省国立看護大学校 教授 森山幹夫氏 <講演Ⅲ> 『利用者本位のサービスと福祉介護ビジネス』 ～今、何が不足し、何が求められているか～</p>	<p>15名</p>

			株式会社リゾートケアハウス蓼科 代表取締役 ホルム麻植佳子氏	
--	--	--	-----------------------------------	--

⑥ 災害支援・義援金活動

兵庫県台風第9号災害により被害にあわれた地域・福祉事業所に対し義援金を贈った。また、会員事業所の被害状況の把握ならびに短期入所生活介護者の緊急受入れについて調査・調整を実施した。

事業名	時期	事業内容
義援金活動	9月30日	「兵庫県台風第9号災害義援金」を会員事業所へ実施した。会員事業所144事業所等から1,310,000円(兵庫県台風第9号災害募集委員会あて贈呈)の協力を得た。
兵庫県台風9号災害に伴う被害状況・短期入所生活介護者の緊急受入調査	8月	「兵庫県台風第9号災害」に伴い、県内老人福祉事業所においての被害の状況ならびに、短期入所生活介護者の緊急受入れ状況について調査を実施し、兵庫県と調整を行った。
見舞金の贈呈	11～12月	<p>本会災害見舞金内規に基づき、「兵庫県台風第9号災害」見舞金を贈呈した。</p> <p> デイサービスセンターみどり苑 10,000円 佐用町社会福祉協議会きらめきケアセンター上月 50,000円 特別養護老人ホームまどか園 10,000円 </p>

5. 法人運営

その他法人の運営に関することについて協議するため開催した。

事業名	実施日	場所	事業内容	参加人数
第15回総会	6月10日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<議案事項> <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 平成20年度事業報告(案) 第2号議案 平成20年度収支決算(案) 第3号議案 平成21年度事業計画の一部変更(案) 第4号議案 平成21年度第一次収支補正予算(案) 	出席会員数 251名(内、委任状28名、書面出席126名)
第16回総会	3月25日	県福祉センター	<議案事項> <ul style="list-style-type: none"> 第1号議案 平成21年度事業計画の一部変更(案) 第2号議案 平成21年度第2次収支補正予算(案) 第3号議案 平成22年度事業計画(案) 第4号議案 平成22年度当初収支予算(案) 第5号議案 役員欠員補充(案) 第6号議案 経理規程(別表1-2 正味財産増減計算書、別表1-3 収支予算書及び収支計算書の科目)の一部変更について 	出席会員数 238名(内、委任状22名、書面出席139名)
第1回理事会	5月20日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<協議事項> <ol style="list-style-type: none"> 平成20年度事業報告(案) 平成20年度収支決算(案) 	出席者 理事18名、 監事1名

			3. 平成 21 年度事業計画の一部変更(案) 4. 平成 21 年度第一次収支補正予算(案) 5. 総会の開催(案) 6. 表彰・感謝候補者(案) 7. 新規入会事業所(案) 8. その他 <報告事項> 1. 平成 21 年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. 退会事業所について	(内、委任状 4 名)
第2回 理事会	3月3日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<協議事項> 1. 平成 21 年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成 21 年度第二次収支補正予算(案) 3. 平成 22 年度事業計画(案) 4. 平成 22 年度収支予算(案) 5. 理事の欠員補充(案) 6. 総会の開催(案) 7. 経理規程(別表 1-2 正味財産増減計算書、別表 1-3 収支予算書及び収支計算書の科目)の一部変更について 8. その他 <報告事項> 1. 兵庫県台風9号災害見舞金交付について 2. 退会事業所について	出席者 理事 16 名 (内、委任状 1 名)
監事監査	5月12日	県福祉センター	1. 平成 20 年度事業報告(案) 2. 平成 20 年度決算(案)	3名
第1回 正副会長会議	4月6日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 21 年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. 事業の進め方について 4. 県受託事業 ・介護保険施設等人材確保支援事業について 5. 近畿老人福祉施設研究協議会について 6. その他 ・認知症介護実践リーダー研修について	7名
第2回 正副会長会議	5月11日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 20 年度事業報告 2. 平成 20 年度収支決算 3. 平成 21 年度事業計画の一部変更 4. 平成 21 年度第一次収支補正予算 5. 本会入会事業所について 6. 運営委員会・理事会・総会の開催について	7名

			<ul style="list-style-type: none"> 7. 表彰・感謝について 8. 近畿老人福祉施設研究協議会について 9. 県受託事業について 10. その他 	
第3回 正副会長会議	5月20日	ホテル北野プラザ 六甲荘	<協議事項> <ul style="list-style-type: none"> 1. 新型インフルエンザについて 2. その他 	6名
第4回 正副会長会議	7月14日	県福祉センター	<報告事項> <ul style="list-style-type: none"> 1. 自由民主党 予算要望について <協議事項> <ul style="list-style-type: none"> 1. 受託事業等について <ul style="list-style-type: none"> ●福祉法人課関係 キャリアアップ研修 職場体験事業 代替職員の確保による現任介護職員等の研修支援事業 複数事業所連携事業 ●高齢社会課関係 介護保険施設職員等人材確保支援事業について ●復興支援課関係 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業 ●高齢社会課関係 LSA活動強化事業 2. 近畿老人福祉施設協議会研究大会について 3. 県・県議会予算要望 4. その他 	7名
第5回 正副会長会議	9月8日	県福祉センター	<報告事項> <ul style="list-style-type: none"> 1. 自由民主党 予算要望について 2. 新型インフルエンザ要望について <協議事項> <ul style="list-style-type: none"> 1. 台風9号等による災害について <ul style="list-style-type: none"> ・状況報告 ・義援金 ・会費 ・コンテインジェンシープラン 2. 県・県議会予算要望 3. 受託事業等について <ul style="list-style-type: none"> ●福祉法人課関係 福祉人材確保対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・複数事業所連携事業・職場体験事業・キャリアアップ研修・代替職員の確保による現任介 	6名

			<p>護職員等の研修支援事業 ・潜在的有資格者等養成支援事業 民間社会福祉施設利用者処遇向上交付金 団体事務(9月よりスタート予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齡社会課関係 介護保険施設職員等人材確保支援事業について ●復興支援課関係 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業 ●高齡社会課関係 LSA活動強化事業 <p>4. 8020 運動推進協議会 委員の推薦について (県健康増進課)</p> <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守等の業務管理体制 ・看護リーダー養成研修 ・介護における事故防止及び感染症対策推進 事業 ・調査研究委員会より ・近畿老人福祉施設研究協議会について 	
第6回 正副会長会議	11月10日	県福祉センター	<p><報告事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護職員処遇改善交付金申請状況について 2. 台風9号等による災害義援金について 3. 公明党からの予算要望報告について 4. 法令遵守等の業務管理規程 <p><協議事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 台風9号等による災害について <ul style="list-style-type: none"> ・見舞金 2. 兵庫県との調整事項について 3. 受託事業等について <ul style="list-style-type: none"> ●福祉法人課関係 福祉人材確保対策事業 <ul style="list-style-type: none"> ・複数事業所連携事業・職場体験事業・キャリアアップ研修・代替職員の確保による現任介護職員等の研修支援事業 ・潜在的有資格者等養成支援事業 <p>民間社会福祉施設利用者処遇向上交付金 団体事務(9月よりスタート予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高齡社会課関係 介護保険施設職員等人材確保支援事業について ●復興支援課関係 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業 	7名

			<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢社会課関係 LSA活動強化事業 4. 今後の日程調整について 5. 入所コーディネートマニュアルの改正について 6. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・他団体との調整事項 ・平成 21 年度ブロック大会 開催助成金について 	
第 7 回 正副会長会議	12 月 15 日	県福祉センター	<依頼事項> 1. 介護雇用プログラム ～兵庫県高齢社会課より～ <報告事項> 1. 新福祉センターへの事務室移転について <協議事項> 1. 本会役員の辞任について 2. 平成 22 年度の事業について 3. その他	7 名
第 8 回 正副会長会議	2 月 5 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 21 年度事業計画の一部変更(案) 2. 平成 21 年度第 2 次収支補正予算(案) 3. 平成 22 年度事業計画(案) 4. 平成 22 年度収支予算(案) 5. 理事の欠員補充(案) 6. 運営委員会・理事会・総会の開催(案) 7. 県受託事業等について 8. 経理規程(別表 1-2 正味財産増減計算書、別表 1-3 収支予算書及び収支計算書の科目)の一部変更について(案) 9. その他	7 名
第 1 回 運営委員会	5 月 13 日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成 20 年度事業報告 2. 平成 20 年度収支決算 3. 平成 21 年度事業計画の一部変更 4. 平成 21 年度第一次収支補正予算 5. 本会入会事業所について 6. 理事会・総会の開催について 7. 表彰・感謝について 8. その他 <報告事項> 1. 平成 21 年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 他団体の役割分担について 3. ブロック・委員会報告	20 名

第2回 運営委員会	2月16日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成21年度事業報告の一部変更(案) 2. 平成21年度第二次収支補正予算(案) 3. 平成22年度事業計画(案) 4. 平成22年度収支予算(案) 5. 理事の欠員補充(案) 6. 理事会・総会の開催(案) 7. 経理規程(別表1-2 正味財産増減計算書、別表1-3 収支予算書及び収支計算書の科目)の一部変更について(案) 8. その他 <報告事項> 1. ブロック・委員会報告	19名
第1回 部会長・委員長 会議	5月1日	県福祉センター	<協議事項> 1. 平成21年度部会・委員会構成・役割分担について 2. 事業の進め方について 3. その他	13名
第2回 部会長・委員長 会議	1月12日	県福祉センター	<依頼事項> 1. 介護保険事業所での障害者就労について (兵庫県障害者支援課) 2. 介護雇用プログラムについて (兵庫県高齢社会課) <協議事項> 1. 事業の進め方について 2. 受託事業等について ●福祉法人課関係 ・潜在的有資格者等養成支援事業 ・民間社会福祉施設利用者処遇向上交付金 団体事務 ●高齢社会課関係 ・介護保険施設職員等人材確保支援事業に ついて ・LSA活動強化事業 ●復興支援課関係 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業 3. 新規会員の入会促進について 4. 今後の予定について	14名

6.受託事業

① LSA活動強化事業

LSAの活動支援体制を強化することにより、シルバーハウジング等に入居している高齢者の介護予防・生活支援に資するため、専門相談会及び研修・交流会を開催した。

研修会・交流会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
研修会 (2回)	1月 21 日	県福祉センター	テーマ『全国のLSA派遣事業の動向』 報告『全国におけるLSA派遣業務の動向 ～様々な取組みをとおして～』 (財)高齢者住宅財団住宅管理部 生活支援サービス課兼管理運営課 課長 堀井真美子氏 報告『コンシェルジュよりLSA(この事業が未来社会 のモデルになるように願って)神戸市のシルバ ーハウジングの試み』 神戸親和女子大学 発達教育学部福祉臨床学科 講師 重野妙実氏	47名 (内LSA 27名)
	3月 18 日	県福祉センター	テーマ『100歳になっても自分の足で元気に歩く』 講義『100歳になっても元気で生きるために!』 神戸常盤大学保健科学部 教授 医学博士 柳本有二氏 グループディスカッション ① 今日の講演の感想 ② 担当団地での介護予防、健康づくりにむけての取組 みについて	38名 (内LSA 36名)

② 夜間・休日「安心ほっとダイヤル」開設事業

災害復興公営住宅等に居住する被災高齢者等のうち、特に見守りが必要な高齢者について、シルバーハウジングでは「生活援助員(LSA)」が、災害復興公営住宅等では「高齢者帯生活援助員(SCS)」等が対応しているが、夜間・休日の対応が必ずしも十分でないことを踏まえ、フリーダイヤルによる夜間・休日「安心ほっとダイヤル」事業を開設し被災高齢者の見守り体制のさらなる充実を図った。

相談実績

相談窓口設置地区	登録者数	相談件数
阪神地区	746世帯	1件
淡路・東播磨地区	136世帯	4件
合計	882世帯	5件

研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
相談員 研修会 (2回)	2月 10 日	県福祉センター	<依頼事項> 「夜間・休日安心ほっとダイヤル開設事業について」 <講義> 『高齢者を取り巻く悪質商法や消費者トラブル』 兵庫県生活科学総合センター 指導啓発課 課長 星野美佳氏	13名

	3月 20 日	県福祉センター	<依頼事項> 「夜間・休日安心ほっとダイヤル開設事業について」 <講義> 「電話による相談援助面接の基本②」 ～よりよい支援にむけて「相談援助面接」の基本を活かそう～ ソーシャルワーカー 谷 義幸氏	7 名
--	---------	---------	--	-----

③ 平成 21 年度民間社会福祉施設利用者処遇向上交付金団体事務

利用者処遇に直接影響のある施設職員を配置基準以上に配置している民間社会福祉施設に対して人件費を支援することにより、利用者の処遇の向上を図るための「民間社会福祉施設利用者処遇向上交付金」の事務の一部を行った。

④ 潜在的有資格者等養成支援事業[再掲]

人材確保対策事業に係る福祉人材のキャリアアップ支援策の一環として、各福祉関係団体が実施する研修の充実を図るとともに、研修機会の充実を図るための県の助成制度(補助)を利用して下記研修会を実施した。

サービス評価委員会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
サービス 評価事業 委員勉強会	8月 28 日	神戸市勤労会館	1. サービス評価の意義と活用 ～自己評価、相互評価、そして第三評価～ 特定非営利法人PASネット 理事長 上田晴男氏・相談員 栗原紀代美氏 2. 実施視察タイムスケジュールについて 3. 昨年度との変更点について 4. 事前資料の確認方法について 5. 現状、課題の確認方法について ・ 報告書の作成について (良い事例・事業実施施設のサービス評価結果) 6. 委員の心得について 7. 各種種別意見交換 ・ 各評価項目確認について統一すべきポイント ・ 実施視察において統一すべきポイント	18 名

拘束なき介護にむけて職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
拘束なき介護 にむけての 職員研修会	2月 26 日	県福祉センター	講義 『介護老人福祉施設が目指す拘束ゼロとは』 大阪人間科学大学 人間科学 教授 峯本佳世子氏 『拘束なき介護にむけてのハンドブックの活用について』 特別養護老人ホームサルビア荘 施設長 出口博久氏 グループワーク	106 名

ケアプラン基礎研修会(講義編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 基礎研修会 (講義編)	8月27日	県福祉センター	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホームあそか苑 保田浩二氏 説明『共通事例概要・留意事項』 洲本特別養護老人ホームラガール 佐野由美子氏	64名
	9月4日	丹波の森公苑	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホームフロイデ滝野 佐治真喜子氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム出石荘 池田和揮氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム松寿園 大槻寿美氏	48名
	10月9日	姫路商工会議所	講義『ケアプラン作成の理念』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 講義『ケアプラン作成の基本と留意点 【包括的自立支援プログラムの特長と作成手順】』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏 説明『共通事例概要・留意事項』 特別養護老人ホーム西はりまグリーンホーム 財津直樹氏	55名

ケアプラン研修会(ICF概念編)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
ケアプラン 研修会 (ICF概念編)	1月19日	県福祉センター	講義『ICFの概念の“包括的自立支援プログラム(アセスメントツール)”について』 特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 藤原重樹氏 共通事例演習 講義『研修会の総括』 こぶし園 施設長 邊見 豊氏	65名

施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	2月4日	クラウンプラザ	【1日目(2月4日)】	88名

	～5日	神戸	<基調報告> (社)兵庫県老人福祉事業協会 会長 石田文徳氏 <座談会> 『委員長・班長が望むサービスの質に向上』 ケアプランリーダー養成・派遣事業委員会 邊見 豊氏 拘束なき介護に向けての検討委員会 出口博久氏 サービス評価事業 首藤 風氏 <講演> 『心の荷物のおろし方』 川村妙慶氏 【2日目(2月5日)】 <講演> 『災害から高齢者を守るために！』 神戸市消防局 主任 満尾勝徳氏 『共に支え、共に生きる』 六甲病院 緩和ケア病棟 チャプレン・カウンセラー 沼野尚美氏	
--	-----	----	--	--

デイ部会 施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長研修会	2月22日	県福祉センター	<講義・演習> 『職場のメンタルヘルスケアー管理職の役割ー』 関西福祉科学大学 大学院 健康福祉学部 准教授 長見まき子氏	46名

デイ部会 職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会 (2回)	9月28日	県福祉センター	<講義> 講義・演習 『セルフマネジメントー自分で自分のストレスをとる方法ー』 一般社団法人日本メンタルフィットネス協会 理事長 心理カウンセラー 下口雄山氏	62名
	12月16日	県福祉センター	<講義> 『通所介護事業所における機能訓練プログラムを通して考えるこれからのデイサービスのあり方』 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部 医療リハビリテーション学科 准教授 備酒伸彦氏 <実践発表> ①デイサービスセンターやすらぎ ②清住園デイサービスセンター ③津名デイサービスセンター ④ゆうらぎデイサービスセンター <グループディスカッション>	80名

介護支援専門員受験準備講習会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
介護支援専門員受験	8月1日～2日	県福祉センター	【1日目(8月1日)】 『介護支援サービスと介護サービス』	総数 105名

準備講習会			『介護保険制度と介護支援』 京都市嵐山地域包括支援センター センター長 真辺一範氏 【2日目(8月2日)】 『高齢者保健医療の基礎知識』 西江井島病院 院長 藤原仁志氏 『介護支援サービスと介護サービス』 本多聞高齢者介護支援センター 主任ケアマネジャー 友清正雄氏 『高齢者福祉の基礎知識』 長田ケアホーム 施設長 山内賢治氏	(会員 68 名、 非会員 37 名)
-------	--	--	--	------------------------

介護保険推進委員会研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
業務管理体制推進研修会	2月1日	兵庫県中央労働センター	講義 『法令遵守責任者配置義務の目的と意義』 大阪府立大学 教授 関川芳孝氏 『介護職員処遇改善交付金について (経理処理のポイント・平成 22 年度の申請手続き等)』 兵庫県高齢社会課 告野育美氏	123 名

研修委員会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員研修会	1月28日	県福祉センター	『利用者とのコミュニケーション方法』 Motto ひょうご 事務局長 栗木 剛氏	68 名

養護部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
新型養護ケアプラン(パッケージプラン)研修会	10月14日	県福祉センター	講義・演習 『わかりやすくなったパッケージプランについて』 養護老人ホーム聖ヨゼフ・ホーム 施設長 平岡 毅氏 養護老人ホーム大津老人ホーム 主任生活相談員 片山 義和氏	24 名
傾聴職員研修会	11月20日	県福祉センター	講義・演習 『対人援助者に必要な傾聴テクニック』 牧野 正等氏	68 名

養護部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
養護部会 施設長研修会	1月 20 日	県福祉センター	講義 『養護老人ホーム再構築 ～現状分析とこれからの取組について～』 養護老人ホーム丸山 施設長 阿比留 志郎氏	25 名

軽費・ケアハウス部会職員研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
職員 研修会	11 月 17 日	県福祉センター	『100 歳になっても自分の足で元気に歩く』 神戸常盤大学 保健科学部看護学科 教授 柳本有二氏	30 名

軽費・ケアハウス部会施設長研修会

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
施設長 研修会	12 月 1 日	県福祉センター	『軽費老人ホームの設備及び運営に関する基準』 全国軽費老人ホーム協議会 副会長兼事務局長 特別養護老人ホームさざんかの郷 理事長 西澤正一氏	29 名

⑤ 介護保険施設職員等人材確保支援事業

介護福祉施設において、主に介護等未経験者を対象に介護補助などの業務に半年間従事(介護補助員)し、実践的な知識・技術の習得を通じて、介護業務に慣れてもらい、介護職員としての正規雇用につなげていくことをねらいとした介護福祉施設等実践研修事業を実施するため、本会に県内特養、養護、ケアハウス(養護・ケアハウスは特定施設入居者生活介護指定施設)に就労する介護補助員のコーディネーターする支援員を配置した。(申請 99 事業所うち職員採用事業所 79 事業所)

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
説明会 (3回)	6月 11 日 6月 18 日 午前・午後	姫路市民会館 県福祉センター	<説明> 1 介護保険施設職員等人材確保支援事業 兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課 課長補佐 兼 高年施設係長 牧野宏成氏 2 質疑応答 3 福祉人材確保対策事業 兵庫県健康福祉部社会福祉局福祉法人課 福祉人材育成係長 野田誠一氏 4 質疑応答	142 名

⑥ 介護における感染症対策等推進事業

特別養護老人ホーム等の同一施設内において勤務している感染症対策等の中心となりうる同一施設内に勤務する看護職員及び介護職員を対象に、職員間のケアの連携強化並びに、介護における感染症対策等の推進を図るため研修事業を実施した。

事業名	実施日	場 所	事 業 内 容	参加人数
感染症対策 研修会	3月 17 日	社団法人 兵庫県看護協会	<講義> 『高齢者施設における感染症対策の基本』 財団法人甲南病院看護支援センター 感染管理認定看護師 松井悠子氏 質疑応答	199 名